

「望ましい富士登山の実現のための指標・水準」これまでの実績値

資料2-3

望ましい富士登山の在り方		指標	登山口	実績									水準 (2024年までの 目標値)	これまでに実施した取組
視点	区分			第一期					第二期					
				2015	2016	2017	2018	2019	2021	2022	2023			
17世紀以来の登拝に 起源する登山の文化 的伝統の継承	頂上付近で御来光を拝む場 合には、途中の山小屋で宿 泊・休憩していること	伝統的な登拝の登山形態と同様 に、山小屋で休憩してから山頂で御 来光を拝む登山者の割合	全体	69.0%	68.2%	77.7%	82.0%	77.3%	80.9%	88.8%	87.6%	80%以上	・山小屋で休息して山頂を目指す啓発を含む動画による広報 ・弾丸登山の自粛や山小屋休息の推奨 ・弾丸登山禁止のチラシ・ポスターを作成、外国人登山者にも呼掛け	
	特定された山麓の巡礼路・登 山道からの登山が行われている こと	古くからの巡礼路としてルートが特 定されている吉田口登山道におけ る山麓からの登山者の割合	吉田	11.9%	13.7%	12.4%	11.7%	9.3%	5.6%	7.5%	9.6%	15%以上	・山麓からの登拝啓発を含む動画による広報 ・馬返からの伝統的な登山の神聖さをPR ・中の茶屋(休憩所)のおもてなしを周知	
	山麓の神社・霊地等と登山道 とのつながりが認知・理解され ていること	山麓の神社や湖などを巡ったのち に富士登山をする文化的伝統を 知っている登山者の割合	全体	32.9%	39.0%	47.0%	38.6%	43.1%	41.9%	42.5%	38.6%	50%以上	・山麓や五合目施設等での神社・湖を巡る伝統的な巡拝の 啓発を含む動画による広報 ・世界遺産巡りガイドマップ(日・英版)の配布	
		<b>富士山に「神聖さ」を感じた登 山者の割合</b>	<b>全体</b>	<b>83.0%</b>	<b>88.2%</b>	<b>85.9%</b>	<b>82.2%</b>	<b>83.2%</b>	<b>88.3%</b>	<b>86.6%</b>	<b>88.2%</b>	<b>90%以上</b>	<b>・飲食・ゴミのマナー啓発 ・御庭、奥庭、御中道の散策ガイダンス促進</b>	
登山道及び山頂付 近の良好な展望景観 の維持	山小屋・防災関連の施設等の 登山者のための施設が自然と 調和していること	自然と調和しない人工構造物による 登山道沿いの景観阻害	全体	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	非調和的要素が 予見又は発見され ない	・登山道、下山道の巡視と維持管理 ・富士山レンジャー等による啓発活動の実施	
	浸食・植生等の変化による展 望景観への影響が抑制されて いること	五合目以上における登山道の浸食 や植生等の変化による展望景観の 変化	全体	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	負の影響が予見又 は確認されない	・下山道の巡視と維持管理 ・種子の防除マット設置 ・植生モニタリング調査	
登山の安全性・快適 性の確保	登山装備・登山マナー等が理 解されていること	登山道や山頂付近でゴミをよく見 かけた登山者の割合	全体	—	26.8%	19.6%	19.3%	22.4%	17.6%	14.0%	29.0%	15%以下	・Twitter等による呼掛け ・安全誘導員や富士山レンジャー等の巡視強化 ・売店・山小屋の協力による注意喚起 ・お盆等の混雑日における外国人へ周知	
		人的要因による文化財き損届の件 数	全体	1件	0件	2件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	・文化財パトロール等による巡視 ・マナーガイド等での周知
		<b>(案)登山者の不適切な行動に不 満を感じた山小屋の割合</b>	<b>全体</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>—</b>	<b>●%</b>	<b>新規</b>
	過剰な登山者数による混雑・ 危険・不満を感じない登山が できること	吉田口から登山し、誤って須走口 に下山した人の割合(須走口五合目 富士山ナビゲーター対応実績)	吉田 須走	0.72% (981人)	0.48% (731人)	0.54% (928人)	0.92% (1,389人)	0.61% (936人)	0.49% (266人)	0.43% (404人)	0.54% (742人)	0.4%以下	・下山道分岐点で誘導員配置 ・音声ガイドの継続 ・ガイダンス強化	
		<b>山小屋やトイレなどの登山者への 支援施設に不満を感じた登山者の 割合</b>	<b>全体</b>	<b>—</b>	<b>19.1%</b> (トイレ)	<b>19.3%</b> (トイレ)	<b>21.9%</b> (山小屋)	<b>21.4%</b> (トイレ)	<b>10.0%</b> (トイレ)	<b>12.6%</b> (山小屋)	<b>13.9%</b> (トイレ)	<b>15%以下</b>	<b>・保全協力金を利用したトイレの改善 ・コロナ交付金を活用した山小屋修繕</b>	
		夏山期間を通じて著しい混雑が発 生する登山者数/日*を超えた日数 *吉田口:4,000人/日 富士宮口:2,000人/日	吉田	4日	4日	5日	6日	6日	0日	0日	0日	3日以下	・効果的な混雑回避啓発動画(30秒)の作成 ・混雑予想カレンダーの更新 ・カレンダーや動画のHP・SNS掲載による混雑日の日程変更 促進	
			富士宮	3日	2日	4日	—	3日	0日	0日	0日	2日以下	※2018:富士宮口の8/14以降のデータが欠損、8/13までに 2,000人を超えた日はない	